Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞

発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都港区虎ノ門4-1-1　虎ノ門パストラル内
Web http://www.route-press21st.jp

空から見た平城京の大内裏。平城宮跡。中央が2010年に完成する復元作業中の第一次大極殿（四角い覆い）。南側に広がる前庭（第一次朝堂院）が「平城遷都1300年記念祝典」の会場となる。右側は第2次大極殿。中央手前は平城宮の正門である朱雀門。東西には近鉄奈良線が走る（奈良文化財研究所提供）

息吹き返す古の国際タウン
平成の「道の駅」もリンク始動

平城京 遷都1300年

青丹（あをに）よし奈良の都は咲く花の
薫（にほ）ふがごとく今盛りなり

万葉歌人小野老（おののおゆ）は平城京をこう詠んだ。遷都の年は「710（南都）きれいな平城京」など語呂合わせで有名。2010年は日本初の本格的な首都「平城京」の誕生1300年。計画都市の原点だ。国は昨秋「平城遷都1300年記念事業」を閣議了解し、平城宮跡を「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園」の平城宮跡区域に整備する閣議決定をした。古来、都市造りは道路造りが根幹だ。奈良県内の道の駅も、奈良市の東、国道25号の道の駅「針T・R・S（テラス）」を核に記念事業に協力。情報発信拠点のモデルとして道の駅の新たな姿を模索する。歴史や文化、風景との出合い。温故知新。遷都1300年を機に、都市・道路造りの原点を平城京に探る。

遷都は古代王朝にとって最大の政権運営手段だった。アジアモンスーン地帯に位置する島国日本は、台風や地震の常襲地域。科学が未発達の時代は避雷針もなく、落雷被害や風水害は、町を壊滅に陥れた。疫病が流行しても神仏の加護を祈るだけで、なす術がない。

平穏な生活への民の希求は政権への不満につながる。王朝は豪族の台頭を抑え、力の誇示によって求心力の維持を目論む時、たびたび遷都した。新たな都の造営は、有効な公共事業として重要な役割を担った。

7世紀、唐や新羅の勃興を受け日本は中央集権的な国家体制の整備を急いだ。唐の都長安に学んだ平城京の建設は、日本の新時代を象徴する国家プロジェクトだった。

平城京遷都は708（和同元）年、元明天皇が決めた。環境改変の都市計画は突貫工事で短期間に進んだ。予定地の民は立ち退かされ、約130㌶の敷地を造るため丘を削り、谷を埋め、大規模に整地。広い道路で都大路は整然と区画され、大規模建築が誕生した。

水運を利用し、木材は滋賀や三重など、石材は奈良の三笠山や二上山、兵庫からも運んだ。瓦は奈良丘陵各地に作った窯で焼き上げたが間に合わず、明日香や藤原宮の建物を解体、柱や瓦も再利用した。各地から民を労役に動員した壮大な公共事業である。

710年、完成。当時の人口10万人以上。シルクロードの終着点、平城京は国際都市であった。各地から各階層の人々が集まり、朝廷の支配が及ばない東北地方や南西諸島の人々、新羅や渤海、唐、ペルシャ、インド、ベトナムからも外国人が渡来。本格的な首都機能だけでなく、国際都市として活動した人類共有の「世界遺産」である。

世界遺産・特別史跡の平城京跡。古都はその陣容が現代まで残る稀有の遺産だ。今、大極殿の復元工事が進み、記念事業の目玉として10年春、一般公開される。大極殿から南に真っ直ぐ伸びる朱雀大路には、既に復元された朱塗りの朱雀門が、天平の昔を偲ばせる威容を見せる。

これら施設は、記念事業を通して歴史・文化遺産の意義を広くアピールする他、諸外国との交流促進や観光交流の拡大、関西圏の振興も目指す。古都は今、来年の国家的イベント幕開けに向け、準備が着々と進む。

国 2010年 記念事業多彩に

「道の駅検定」開始へ　着々と準備進む

第23号　INDEX

1〜3	特集「平城京　遷都1300年」
4/5	「環境に取り組む一輝く人たち」
6	列島保全への課題
7	新しい道の駅一覧
8/9	特集「道の駅と武将列伝」
10	国土学事始め　なるほどブリッジ
11	話題の道の駅
12/13	グリーン・ツーリズム
14	読者の声　おもしろ万葉集
15	プレゼント・パズル